



多くの観客が見守る中、熱い対局を繰り広げた人間将棋  
 〓天童市・舞鶴山山頂（撮影・堀川貴志）

天童 人間将棋開幕

甲冑姿の武者や着物に身を包んだ腰元を駒に見立て、プロ棋士・女流棋士が対局する「人間将棋」が15日、天童市の舞鶴山山頂で開幕した。桜が舞う山頂に将棋ファンが集い、春の風物詩を楽しんだ。

今年は市制施行65周年に合わせて城内を模したセットを一新したほか、新型コロナウイルス禍前のように誰でも観戦できる態勢とした。メイン対局では実力者の加藤桃子女流三段(28)に、新進気鋭の野原未蘭女流初段(19)が挑戦した。約15㍍四方の盤上で天童高と

ファン集い武者動く

創学館高の生徒が扮する駒をぶつけ合い、野原女流初段が99手で勝利した。

東京都練馬区、パート従業員宮内麻里さん(59)は「加藤さんがとにかくかわいく、年下の未蘭ちゃんの落ち着いた様子も印象深かった。今夜は温泉に漬かり、また明日楽しみたい」と話した。

16日は人間将棋始まって以来のA級棋士同士による対局で、稲葉陽八段(34)と中村太地八段(34)が顔を合わせる。

(落合慶)